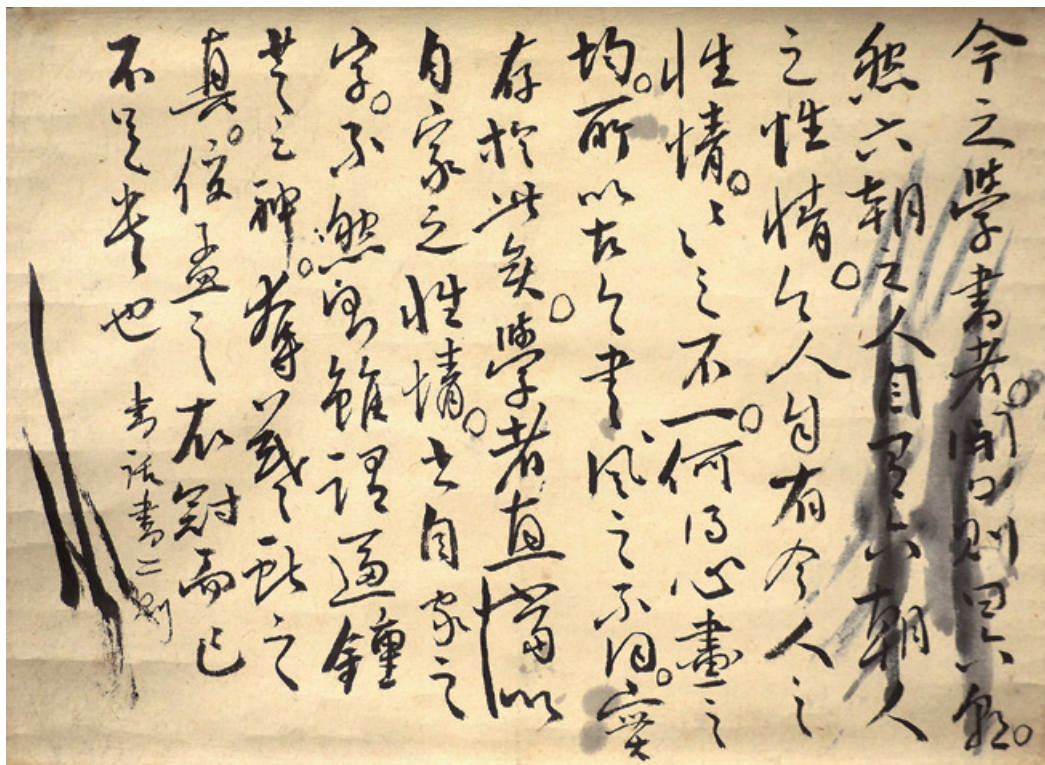


中林梧竹 — 『梧竹堂書話』 に学ぶ

「書を学ぶものは、師匠や古人のまねごとではなく、自己のオリジナルの字を書かねばならない」 梧竹 自己の性情をもって



中林梧竹筆『梧竹堂書話』草稿 1幅（当館蔵）

主に明治時代に書家として活躍し、現代にも通じる芸術的な作品を残した「明治の三筆」の一人、中林梧竹（1827～1913年）。当館所蔵の書作品18点や関連資料とともに、梧竹の書論『梧竹堂書話』の一節を展示し、作品の根底にある梧竹の書に対する考え方を紹介します。

2024年 8月6日（火）～9月29日（日）

【会場】 3階 書道美術常設展示室

【展示解説】 8月10日（土）、9月8日（日）各11時～11時30分 * 申込不要、観覧券必要

講師 松山佳代（当館学芸員）

【開館時間】 9時30分～17時

【休館日】 月曜日（ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館、9月17日、9月24日は休館）

【観覧料】 一般 310円（250円）、高校・大学生 200円（160円）、小・中学生 100円（80円）

（ ）内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日と夏・秋休み期間中は無料。

高齢者（65歳以上）と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

